

民生常任委員会 建設常任委員会 所管事務報告

資料

令和4年7月25日

令和4年7月28日

※報告日までは、外部への
資料提供はご遠慮ください。

西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業 再検討案の概要について

産業文化局 文化スポーツ部

土木局 公園緑化部

目次

1 基本的な考え方	1
2 主な再検討項目（案）	1
3 再検討案の比較検討	2
4 整備費用	4
5 今後の予定	4
6 次回の報告	4

1 基本的な考え方

西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業については、令和2(2020)年6月に入札公告を中止しておりましたが、今年度から本格的に再検討を開始しています。

新型コロナウイルス感染症の影響などによる近年の社会経済情勢により、とりわけスポーツを取り巻く環境やライフスタイルは変化しています。「する」・「みる」・「ささえる」を基本としつつも、スポーツ施設がある運動公園として新たなニーズに応える必要があります。

このため、整備計画については、令和2年1月に公表した当初の計画内容を概ね踏襲しつつ、アフターコロナを見据え、以下の視点・方向性を考慮し、改めて本事業で必要とする機能・規模の見直しを図り、再検討案の概要としてまとめています。

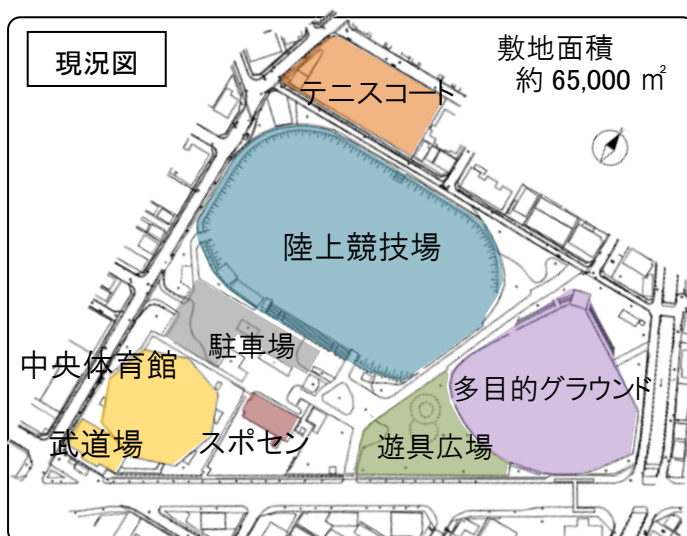
- ・ 本市の中核的なスポーツ施設として、だれもが利用しやすく環境にやさしい運動公園を目指す
- ・ スポーツ施設と公園施設の相乗効果による賑わいとコミュニティを創出する
- ・ P F I 事業の特性を活かした創意工夫あふれる提案と費用対効果の両立を図る

2 主な再検討項目(案)

施 設	内 容 (検討中項目含む)
体 育 館	・ 観覧席数の削減、諸室の機能集約
陸上競技場	・ 観覧スペースとなるトラック外周部の見直し
公 園 施 設	・ インクルーシブ遊具の導入
駐 車 場	・ 駐車台数の削減 (観覧席数に対応して計画)
各 施 設	・ 再生可能エネルギーの活用 ・ 環境性能の強化 (Z E B = Net Zero Energy Building など)

【参考1】本事業の対象施設

- ・ 中央体育館・武道場
 - ・ 陸上競技場
 - ・ 駐車場・駐輪場
 - ・ テニスコート【維持管理のみ】
 - ・ 公園・広場・園路
 - ・ 防災施設 (備蓄倉庫等)【整備のみ】
 - ・ 雨水貯留施設【整備のみ】
 - ・ 民間提案施設【独立採算】
 - ・ 周辺道路
- ※西宮スポーツセンター及び多目的グラウンドは解体



3 再検討案の比較検討

再検討に際しては、当初計画内容（令和2年入札公告時点）のスポーツ機能は維持しつつ、最近の物価上昇傾向、関連法制の改正（建設業における週休2日制導入等）や脱炭素社会の実現などについても総合的に勘案しながら、「1 基本的な考え方」でお示した視点・方向性等に合致した案を検討していきます。

そのためには、今回整備対象となっている建築物の中で、最も多くの利用がある市内大会を想定し、「する」スポーツ機能への影響をできる限り避けるため、体育館の観覧席を削減することが効果的であると判断しました。他には、諸室配置を見直し、控室としても利用可能な談話室は、類似した機能を有する会議室に機能を集約することとしました。こうした施設のコンパクト化により、一部の興行試合に影響を及ぼす可能性はありますが、事業者とともに影響が最小限となるよう、施設計画や運営上の工夫を図っていきたくと考えています。

陸上競技場については、円滑な大会運営のため、仕様の見直しを行うこととします。

環境性能については、本市が令和3年2月に表明した「2050年ゼロカーボンシティ」の趣旨を踏まえ、可能な限り環境への負荷低減を目指しますが、詳細については引き続き検討していきます。

駐車場については、観覧席数に対応した形で必要台数を見直します。今回の検討では、立体駐車場を想定せず、平面駐車場を前提として計画することとします。

公園施設については、だれもが利用しやすいようにインクルーシブ遊具の導入を新たに追加します。

施設整備時期については、当初計画では、体育館を先行して建設し、その後、陸上競技場を整備する段階整備を想定していました。再検討案では、たとえば工期短縮が可能な案なども検討していきます。

次表では、主な再検討項目についての具体的な案とメリット・デメリットをまとめています。

比較検討一覧		当初計画案 (R2入札公告時)	再検討案
体育館	延床面積	約 13,000 m ²	約 11,000 m ² ※事業者提案による増減は原則妨げない
	メインアリーナ	バスケットコート3面分	変更なし
	サブアリーナ	バスケットコート1面分	変更なし
	メインアリーナ 観覧席	3,000 席以上（固定・ 移動席合計）	1,500 席以上（固定席） ※座席の増席は事業者提案とし、興行主 による仮設席設置は妨げない
	武道場	柔道・剣道場計4面 観覧席200席	変更なし ※座席の仕様などは、事業者提案とする
	諸室	会議室・談話室（控室）	会議室（控室兼用）
陸上競技場	トラック	第4種公認・全天候舗装・ 400m×9レーン	<検討中> レーン数の見直し
	インフィールド	人工芝 ※投てき競技対応	変更なし
	照明設備	あり	変更なし

比較検討一覧		当初計画案(R2入札公告時)	再検討案
陸上競技場	スタンド観覧席	1,000席(一部屋根付き)	変更なし ※座席の増席や座席の仕様などについては、事業者提案とする
	トラック外周部	隣接する緑地を活用	<左記案に加え、以下の案も検討中> トラックと同じ平面にし、観覧スペースとしてだけでなく、選手の練習・待機場所としての活用を検討
体育館・陸上競技場共通	環境性能	標準程度(省エネ機器の選定・CO2及び光熱水費の削減を目指す)	<検討中> ・省エネ技術の積極的な導入 ・ZEB化検討 (高環境性能・低環境負荷を目指す)
	再生可能エネルギー	特になし(事業者提案)	太陽光発電の導入 ※その他については、事業者提案とする
駐車場	駐車可能台数	約 400 台以上(立体・臨時含む)	平面約 300 台以上(臨時含む) ※ 立体駐車場 は必須としない
駐輪場	敷地内駐輪可能台数	約 450 台以上	変更なし ※電動自転車など自転車の大型化を考慮
公園施設		子供の遊び場・多目的広場等	インクルーシブ遊具 の導入
防災施設		備蓄倉庫・マンホールトイレ等	変更なし
雨水貯留施設		既設 450 m ³ +新設 3,500 m ³	変更なし
道路改良		西側道路右折レーン・歩道整備	変更なし
民間提案施設		公園の賑わい創出や市民交流の場として十分に機能を発揮できるように計画	基本的に変更はないが、アフターコロナを見据えた意欲的な提案を促すように計画
想定施工期間		段階整備:60ヵ月程度 ※体育館完成後、陸上競技場整備に着手	<左記案に加え、以下の案も検討中> 工期短縮が可能となる案などを検討
メリット		・メインアリーナ観覧席数が多く、興行利用に対応	・床面積削減などにより整備費が減少 ・陸上競技場の外周スペースの有効活用が可能 ・環境性能を重視 ・立体駐車場の建築費用が不要
デメリット		・省エネ性能が比較的低い ・立体駐車場の建築費用が必要	・メインアリーナ観覧席数(固定席)が少なく、興行主の負担が増える ・諸室の余裕が少ない

4 整備費用

令和2年の当初計画案（126.6億円）でそのまま事業が進捗していた場合、物価上昇の影響を受けて当時の条件で改定を行うと、改定後の契約額は概ね134.4億円となる見込みです。

また、当初計画案で令和4年に入札公告を行った場合、物価の急激な上昇等による経済環境の変化に加え関連法制の改正（建設業における週休2日制導入等）などにより、概算事業費は146.0億円程度になると試算しております。

現在行っている再検討の中では、体育館の観覧席数減による床面積削減や立体駐車場の取り止めなど整備内容の見直しを行い、整備費の縮減を図る予定です。

なお、再検討案での概算整備費用については、費用の算出に大きく影響する検討中の項目があり、物価変動も著しいため、別途必要となる整備費以外のおよそ20年分の維持管理費等（当初計画時は約36億円）を含めて、施設規模・仕様等がある程度決まった段階で試算します。

【参考2】当初計画案での概算整備費用合計

発注時期	R2年（※1）	R4年（※2）
入札公告時点	126.6 億円	146.0 億円
	↓	
物価変動改定後	134.4 億円	

（※1）R2年に行った入札を中止せず続行した場合の概算額

（※2）R4年にあらためて入札を行った場合の概算額

5 今後の予定

※再検討業務の進捗状況・事業者の提案内容等によって、下表の予定は変動します。

年度・時期	内容（段階整備案）
R4年度 (2022)	5月 所管事務報告（今後の進め方）
	7月 所管事務報告（再検討案の概要） ★今回
	10月 所管事務報告（再検討の結果）
	12月 所管事務報告（実施方針・要求水準書（案）の提示）
	12月 「実施方針・要求水準書（案）」の公表
	3月 債務負担行為の設定・入札公告
R5年度(2023)	入札提案書受付
	落札者決定
	事業契約締結
R6年度(2024)	設計・解体（埋蔵文化財調査含む）
R7～8年度 (2025～2026)	新体育館建設
R9年度(2027)	新体育館供用開始
R10～11年度 (2028～2029)	新陸上競技場建設・供用開始（旧体育館等解体含む） 公園全面供用開始（グラウンドオープン）

6 次回の報告内容

今回の議会への報告を踏まえ、再検討案の結果及び見直し後の最新スケジュールを報告する予定としています。